

東岐波のレンコン、取材に行ってきた～



東岐波でエコファーマーとしてレンコンを栽培されている金崎勇さんのレンコン畑にお邪魔しました。レンコンの畑は、全部で70a。広大な面積のレンコン畑です。3月に植えをし、7月20日ごろから収穫できるとのことです。まだ、その時は2節か3節しかなく、8月15日くらいまで待つと、本体は5節くらいに成長することです。



東岐波のレンコンは、こんな形。本体があって、その横から、また側枝がでてきます。そして側枝の節は数も決まるとのことです。本体が水の中の泥の上で横向きに成長し、側枝が水面に向かって伸びる形で成長します。水の深さはだいたい25センチ程度です。このレンコンは、他の地域のレンコンと比べ、浅い水の中で成長するのです。



この船いっぱいレンコンを収穫するのは1時間位かかります。



この水の勢い！強すぎてもいけません。水のなかの泥を柔らかくして、レンコンを取りやすくするために使います。



レンコンに水を当てながら、手探りでレンコンの節の数を数えながら、皮を傷つけないように上手に収穫して行きます。枯れた葉や茎は、邪魔になるので、切りながら進みます。水の中の土は、有機肥料や堆肥を使用し、理想の土になるには5年ほどかかりました。土が良いので、泥の中で育つにもかかわらず、とても色白のレンコンです。



これは実です。花託(かたく)といいます。これが蜂の巣に似ていることから、「はちのす」「はちす」「はす」とも呼ばれています。



金色に輝くエコファーマー認定シールと、136くん(勇くん)シールを貼って、きらら道の駅や新鮮館、楠こもれびの郷、東岐波朝市などで販売しています。一度食べたならホクホク感にびっくりですよ～！